

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代組織論	NLA11_015	必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堤 マサユ	教員控室	kango	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	組織は社会集団から成り立つ、その集団は人々の集まりである。社会を維持するために、秩序、規範などから様々な組織を形成し、人々は社会的、文化的な特徴を持って生活する。本科目は社会学の視点から、現代社会はどのような特徴を持っているか、日本社会の歴史の変遷から見ると、暮らしや組織、集団がどのように変わってきたかを中心に学習する。さらに、人間生活の基本的な集団である家族から集団、組織、システム、制度などを理解することを目的とする。この科目の学びを通して、将来、医療従事者として、横断的、縦断的に自分の所属する集団、組織の在り方を学び、現代組織、社会を理解する力を身につける。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	将来の理想的な自分像を描きながら、看護の専門職を目指して、日々励んでほしい。社会の組織の中で、周囲を支えながら生活をしていることを自覚しながら、他者への思いやりを持ち、学んでほしい。				
教科書	教科書は指定しない。				
参考書	家族看護学 看護学テキスト/山崎あゆみ/原礼子編著/南雲堂/2022年				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会の中の「組織」「集団」について理解できている。		HSU(5)(6),NS(2)(4)		
②	マクロな「組織」について、理解できている。		HSU(1)(5),NS(2)(4)		
③	身近な「集団」「組織」について理解できている。		HSU(5)(6),NS(2)(4)		
④	家族の集団、組織を基本的視点として、社会の組織、集団が考えられる。		HSU(5)(6),NS(2)(4)		
授業計画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンス、社会の中の組織を中心に関連する概念などを社会学の視点から学習する。	講義	復習学習として、社会のマクロ・メゾ・ミクロレベルの組織を理解・整理する。社会の中の組織のとらえ方を学ぶ。	2	
2	日本社会・組織の歴史の変遷と人々の暮らしにみる変化を学習する。1945年制度的変化から2000年までの経済、社会構造、組織変化などについて学ぶ。	講義	準備学習として、歴史年表を確認しておく。復習学習として、歴史の変化から制度としくみ、組織がどのように変わると人々の生活が変化したかを学ぶ。	4	
3	日本社会・組織の歴史の変遷と人々の暮らしにみる変化を2000年から今日まで、災害による社会転換、生活変化などを学習する。	講義	復習学習として、歴史年表を確認する。人間にとって最も基礎的で身近な集団、組織である家族の生活を考える。	4	
4	日本の現代社会・組織から見る動向と諸問題1 人口構造・社会保障・情報化・産業化などの動向と諸問題、特徴について学習する。	講義	復習学習として、人口構造の変化による少子高齢化問題、経済、雇用、社会保障問題、情報化など確認する。	4	
5	日本の現代社会・組織から見る動向と諸問題2 地球環境問題・国際化・科学技術・医療技術・ライフスタイルなどの特徴と問題を考える。	講義	復習学習として、現代社会・組織の動向と特徴を確認する。グローバル化・国際化・地球環境問題・NPO、NGO等を確認する。	4	
6	現代組織と人間、生活を捉える。人々の生活視点としての集団・組織である家族の視点から考える。	講義	復習学習として、家族の視点から組織と集団の類似と相違を理解し、人々の生活について構造的に考える。	4	
7	人の一生と集団、組織の変遷からよりよく生きるために生活設計を学習する。自分の生涯について地位と役割論などを参考に考える。	講義	復習学習として、私たちは生涯どのような集団、組織に属して生きていくか、その位置、地位、役割を考え、生活設計を考えてみる。	4	
8	まとめ(プレゼンテーション、ディスカッション)	講義 プレゼンテーション	授業を通して、新たに発見したことをまとめる。	4	
試	レポート				

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	60	20	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	5	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	5	15
	コミュニケーション力	0	10	10	0	0	20
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	5	15
問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10	
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓					
	②	✓	毎回、小レポートを書かせる。授業で学んだ知見を必ず記入、疑問、質問がある場合は記入する。学びを通し、新たな気づきがリアクションペーパーに、記述されているかなどについて評価する。			授業の初めに前回のレポートにおける疑問、質問を解説、回答する。	
	③	✓					
	④	✓	また、提示した課題に関して、論旨を考慮して、自分の考えなどが表現されているかを総合的に評価する。				
成果発表	①	✓					
	②	✓					
	③	✓	積極的に参加、自分の考えを表現しているか、努力しているかを評価する。			発表の終わりに評価、コメントする。	
	④	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①	✓					
	②	✓	誤字、脱字、提出日時を守っているかなども評価に含む。また、グループワーク、プレゼンテーション時、積極的に自分の意見を述べられているか、他者の意見に対する自分の考えや意見を述べているかなどディスカッションができていないかなどを評価する。			授業のはじめか終わりに評価、コメントする。	
	③	✓					
	④	✓					
備考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	担当する教員は、大学における教育経験を40年以上有したものである。						
実践的授業の内容	毎回、小レポートを書かせる。授業で学んだ知見を必ず記入、疑問、質問がある場合は記入する。学びを通し、新たな気づきがリアクションペーパーに記述されているなどについて評価する。また、提示した課題に関して、論旨を考慮して、自分の考えなどが表現されているかを総合的に評価する。授業態度や講義中の質問に発言する貢献度を鑑み、レポートと出席も考慮して総合して評価を行う。						
その他							